

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (☐新規 ☑拡充 ☐縮小 ☐休止・廃止 ☐現状維持)

1 事務事業の基本情報																	
☑位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																	
事務事業名	職員厚生経費	補助区分	☐国補 ☐県補 ☑市単	終期	☐決まっている (平成 年度まで) ☑決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	2	項	1	目	1	事業	4
担当部	総務部	担当課	人事課	担当係	研修厚生	係	作成者	土居 美代子	内線(電話番号)	3720	シート作成日	H30.5.29	部長決裁日	H30.6.4			
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略		<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : )		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : 労働地方公務員法, 安全衛生法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : )												

2 事務事業の目的																
☑当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か?→ ②一方で、「現状や課題」はどうか?→ ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																
現状課題	当市もストレスチェックを行っているが、筑波大学のご厚意により、通常のストレスチェックと水害に関連したストレスチェックを無償で実施しているが、平成31年度からは業者委託での実施となるため予算を計上する予定である。健康診断については、受診数が昨年より増加しており、職員自身が健康への意識・関心を高めているのが感じられた。										誰・何を対象に 全職員		どのような方法・手順で ・健康診断の実施 ・ストレスチェック, カウンセリングの実施 ・衛生委員会の実施		望ましい状態 ストレスチェックを行うことで、結果表により職場のストレス状況を知るための基礎資料となる。それにより、職場のストレス要因が明らかになるとともに、心の病を持つ職員を早期発見することで長期休暇を防ぎ、職員が働きやすい職場環境となる状態。	

3 事務事業の主たる成果指標														
☑数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	ストレスチェック実施者	単位	%	目標値	95	目標年次	平成 30 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	ストレスチェック後の対応により、心身の不良を未然に防ぐ					

4 事務事業の実績 ㊦														
☑当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。														
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度					
事務事業を構成する主な業務	業務名			活動量	業務名			活動量	業務名			活動量		
	①	職員健康診断の実施(正職員)	210人	①	職員健康診断の実施(正職員)	227人	①	職員健康診断の実施(正職員)	243人					
	②	職員健康診断の実施(臨時・嘱託)	229人	②	職員健康診断の実施(臨時・嘱託)	213人	②	職員健康診断の実施(臨時・嘱託)	146人					
	③	職員健康診断の実施(公立組合)	8人	③	職員健康診断の実施(公立組合)	8人	③	職員健康診断の実施(公立組合)	10人					
	④	安全運転管理者講習会受講	10人	④	安全運転管理者講習会受講	7人	④	安全運転管理者講習会受講	11人					
	⑤	ストレスチェックの実施	555人	⑤	ストレスチェックの実施	524人	⑤	ストレスチェックの実施	637人					
	⑥	衛生委員会の実施	1回	⑥	衛生委員会の実施	1回	⑥	職場巡視の実施	1回					
	⑦	職場巡視の実施	1回	⑦	職場巡視の実施	2回	⑦							
	⑧			⑧			⑧							
	⑨			⑨			⑨							
	⑩			⑩			⑩							
	⑪			⑪			⑪							
⑫			⑫			⑫								
目標値に対する実績値			95 %	目標値に対する実績値			79 %	目標値に対する実績値			91 %			
決算額	計	4,219,743 円	内訳	特定財源	円	一般財源	4,219,743 円	計	3,286,136 円	内訳	特定財源	円	一般財源	3,286,136 円
(住民一人あたりの行政コスト)			68 円	(住民一人あたりの行政コスト)			54 円	(住民一人あたりの行政コスト)			61 円			

5 担当者評価 ㊦													
☑実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	平成29年度は、ストレスチェック実施者の増加、担当医による個人面談者数も増え、個々のメンタルに対する意識が高くなっている。災害でのストレス(うつ病者)は平成28年度に比べ、6%から3%に減少された。健康診断については、正職員受診者の増加、臨時・嘱託に関しては受診者が減少して見えるが、受診対象が社保加入者と変更されたためである。この二つの事業から、職員個人が自分の健康やこころの病についての意識が向上されている。												
問題点	平成29年度は衛生委員会を実施する事ができなかった。産業医が多忙により、職場巡視も1回のみ実施で終わってしまった。産業医条件に適していない状況であり、任期終了の平成31年に向け、産業医・産業医の報酬について見直す必要がある。												

6 担当部長及び担当課長評価 ㊦													
☑担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
☑拡充 ☐現行どおり ☐縮小 ☐休止・廃止													
評価理由	ストレスチェック、カウンセリングの実施は、ストレスの要因分析と心の病の早期発見・対策に有効な手段であるため、今後は外部委託による実施になるだろう。また、内部としても衛生委員会、職場巡視が必須であり、今後ますます重要度が高くなって行くことから、産業医の報酬の改正が必要となる。												

7 実施計画 ㊦													
☑今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度				
事業内容	●職員健康診断委託料(正職員)			245人	●職員健康診断委託料(正職員)			245人	●職員健康診断委託料(正職員)			245人	
	●職員健康診断委託料(臨時・嘱託分)			145人	●職員健康診断委託料(臨時・嘱託分)			200人	●職員健康診断委託料(臨時・嘱託分)			200人	
	●職員健康診断委託料(公立組合分)			10人 ※すべて見込み数	●職員健康診断委託料(公立組合分)			10人 ※すべて見込み数	●職員健康診断委託料(公立組合分)			10人 ※すべて見込み数	
	●安全運転管理者講習会負担金			13人	●安全運転管理者講習会負担金			13人	●安全運転管理者講習会負担金			13人	
●衛生委員会			1回	●衛生委員会			1回	●衛生委員会			1回		
●職場巡視			2回	●職場巡視			2回	●職場巡視			2回		
●産業医報酬			5回	●産業医報酬			5回	●産業医報酬			5回		
●ストレスチェック委託料			1回	●ストレスチェック委託料			1回	●ストレスチェック委託料			1回		
予算額	歳出	計	4,039 千円	歳出	計	4,994 千円	歳出	計	4,994 千円				
	歳入	特定財源	千円	特定財源	千円	特定財源	千円						
		一般財源	4,039 千円	一般財源	4,994 千円	一般財源	4,994 千円						
		計	4,039 千円	計	4,994 千円	計	4,994 千円						

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。組織が大きくなればなる程、そこで働く労働者の中で心の病で休職する人数は必然的に増えてしまう。これにより、代替の労働者を雇うため更に人件費が膨れ上がる。カウンセラーや嘱託医を隔日で配置し、職員にとっすぐ相談できる窓口(駆け込み部屋のようなもの)を設置するなど、気付いたときには手遅れ、とならないように今からでも早急に対応するべきである。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊦													
事務事業の方向性													
☑拡充 ☐現行どおり ☐縮小 ☐休止・廃止													
評価理由	労働安全衛生法の改正により、ストレスチェックが義務付けられるなど、メンタルヘルスの不調を未然に防止するための仕組みが重要になっており、産業医の役割も大きくなっている。職員の健康管理については組織力の向上にも直結するものであり、カウンセリング等の対応を充実させるとともに、働きやすい職場環境を構築していく。												

11 事務事業の改善理由 ㊦													
☑実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	職員の健康管理について継続的な療休取得者、メンタルでの休業者について、今後は産業医に相談し、療休者を減少させるため面談等も必要に応じ実施したいと考えている。職員の不調を早期発見するため、連携が取れる産業医の人選、報酬見直しを行い、働きやすい環境づくりに取り組んでいく。												